

寮内の補充・補修について

来寮する業者、職員の対応してほしい、という話(文責114期SC)



目次

1. 立ち会いのお願い
2. 職員の寮内立ち入りの歴史的経緯
3. 立ち会いの意義



寮内の物品の補修・補充のながれ

当局補充のものが故障した



厚生部やSCに報告してね。



厚生部・SCがまとめて優先順位を決めて厚生課に提出



現認

本当に壊れているのかどうかを確認するのが「現認」

今は守衛の飛田さんの業務



お願い:修理

業者が現場を見に来る(現調)

業者が実際に修理する。

飛田さんも立ち会ってくれるが、寮生の立ち会いが必要

- ・どこがどう壊れているのか一番分かっているのは寮生
(なのでできるだけBLで人を出す)
- ・どう修理したのか、を寮生で確認して寮内で引き継ぐ
- ・気をはらなくていい。頼まれたら引き受けて欲しい



お願い: 検査・検収

修理が終わった直後に、厚生課職員が2人来る。

- ・検査: 業者がちゃんと修理をしたのかを見る
- ・検収: 修理において納品された物品が、報告通りなのかを確認する。

別の職員が見ないといけないので、2人来る。



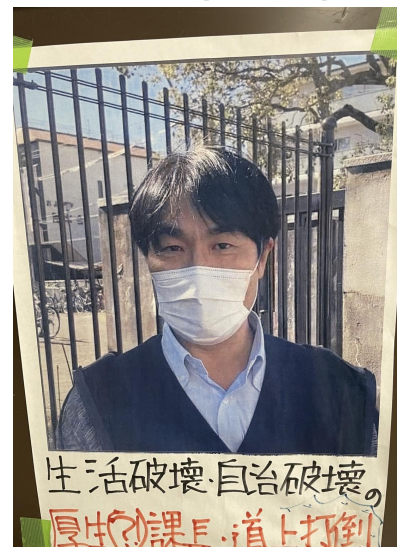
お願い:検査・検収は一人ずつ取り囲んで立ち会う

検査・検収も普通は2人で同時に見るが、熊野寮では1人を駐輪場に待たせて1人ずつ取り囲んで案内

- ・経路の確認(シャワー室なら厨房を通らせるなど。なるべく中に入れない。コンテナ注意)
- ・ボテッカー剥がし。
- ・業者と職員が話すときには、話に加わること

経緯：昔は、現認も検査検収もなかった。

- ・昔は、「壊れました」と言うと業者が来て、それでおしまい。だった。
- ・しかし、2021年度から道上厚生課長が「現認と検査検収いるよ」と言ってきた。





経緯：昔は、現認も検査検収もなかった。

- ・でも職員が寮内に立ち入るのは緊張感がある。

2021年男子シャワー室故障→寮生「職員入れません」
当局「なら修理しない」

→そうこうしているうちに厨房いたずら事件で、道上が来寮。そのタイミングで大量の寮生で道上を取り囲みいろいろ現認させる。

→取り囲むことが重要（目隠し&監視）

→シャワー室も職員を大量の寮生で取り囲んで現認と検査、検収させた。



経緯：交渉の結果、現認は守衛の担当に

寮生で頑張って交渉した結果、現認は我々にとって気安い(寮生でコントロールがしやすい)守衛が担当することになった(2022年度から)



意義：検査・検収は当たり前ではない

- ・向こうは「規則」「コンプラ」を盾に寮内に入ろうとする
- ・でも、もとはやっていなかったし、厨房関係の修理では検査検収来ていない。
- ・本当に必要かは不明
- ・現認を守衛担当にさせたように、交渉の余地はあるかもしれない。



自分の住んでいるところなんだから自分たちで立ち会おう

- ・自分のブロックは特に、自分たちで業者も職員も立ち会おう
- ・熊野寮を管理しているのは寮自治会
(当局は補修するだけ)
- ・職員は情報を抜きに来る。検査検収の放送を聞いたりやLINEを見たら、駆けつけよう。ボテッカーを剥がそう。